



平成 21 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 不二サッシ株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉本 直史  
 (コード番号 5940 東証2部)  
 問 合 せ 先取締役管理本部長 柳澤 孝司  
 (TEL: 03-5745-1210)

業績予想の修正ならびに人員削減等の経営合理化の取り組みに関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年5月14日の決算発表時に公表した平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、現在の厳しい事業環境に対応していくためには、一層の経営合理化を行うことが不可欠であると判断し、以下の施策の実施を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	45,000	△1,200	△1,700	△1,800	△26円03銭
今回修正予想(B)	36,120	△2,060	△2,360	△2,560	△26円05銭
増減額(B-A)	△8,880	△860	△660	△760	—
増減率(%)	△19.7	—	—	—	—
(ご参考) 平成21年3月期第2四半期実績	51,314	△1,754	△2,082	△2,682	△38円78銭

(2) 個別

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	27,000	△450	△700	△700	△10円13銭
今回修正予想(B)	21,430	△1,030	△1,150	△1,600	△16円28銭
増減額(B-A)	△5,570	△580	△450	△900	—
増減率(%)	△20.6	—	—	—	—
(ご参考) 平成21年3月期第2四半期実績	28,860	△1,223	△1,364	△2,029	△29円34銭

## 2. 修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、昨年来の世界的な経済環境の悪化に伴い設備投資の抑制や不動産業界、マンション業界の低迷が長期化するなか建築需要の減少は著しく、受注競争が一段と激化するなど当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況にあります。

このような状況のもと、設備投資や経費の抑制、固定費の削減などの施策を実施してまいりましたが、想定を上回る受注高の減少等により売上高は予想を下回る見込みであります。利益面につきましても、コスト削減に努めましたが売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

従いまして、連結・個別ともに平成21年5月14日公表の第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想については、現在策定中のため、平成21年11月11日の第2四半期決算発表時に公表いたします。

## 3. 一時帰休の実施

- (1) 休業日 平成21年11月1日～平成22年10月31日  
対象部門ごとに定めた日程により、1ヶ月に3日休業を実施
- (2) 対象部門 営業部門・工場部門を除く全部門

## 4. 人員削減等の合理化

- (1) 希望退職者の募集
  - ① 募集人員 25名
  - ② 募集対象者 50歳以上の全従業員
  - ③ 募集期間 平成21年10月19日～11月10日
  - ④ 退職日 平成21年11月30日
  - ⑤ 優遇措置 所定の退職金の他に特別退職一時金を支給する
- (2) 定年後再雇用嘱託の中断
  - ① 期間 平成21年11月より当面の間

## 5. 役員報酬等の減額幅の拡大について

昨年11月より役員報酬の減額を行っておりますが、以下のとおり減額幅を拡大します。

- (1) 役員報酬の減額内容  
報酬月額額の15%～30%（従前、10%～20%）
- (2) 監査役報酬自主返上の減額内容  
報酬月額額の15%（従前、10%）

## 6. その他取り組み

上記施策のほかに、事務所賃料などの経費、固定費の削減、購買調達コストの削減、生産合理化によるコストダウン等、更なる合理化を推進します。

## 7. 今後の見通し

今回の経営合理化策を実施することによる改善効果により今通期は経常利益ベースで黒字化を見込んでおります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上